

◎ 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内 容	評 価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。		○			・事務時間(書き物関係に充てる時間)の確保についてはまだまだ改善していく必要はあるが、書類の内容や意義などを精査して見直しを進め、負担が少なくなるよう保育士と協働して工夫をしていった。 ・職員配置については、よりOJTの精度を高めるように改善していきたい。ペアとなる保育士の相性を見極め、そのペアで得られるねらいなどを設定して来年度の準備をする。
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。		○			
		(3) 職員の配置は適材・適所か。		○			
		(4) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。		○			
	運 営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○			全職員を巻き込んで会議を進めていけるよう、会議で積極的に発言する職員が固定化しないような仕組みを考える必要がある。チーフ会議を廃止し、クラス代表者会議へと形を変えていくことを検討している。各代表者は代表会議前にクラスで吸い上げをして、会議で発表する。そのため、クラス代表者は誰でも良い(チーフだけでなく、新人でも良い)が、毎週代表者が変わっていくようにする(輪番制)。
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○			
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。		○			
	年 齢 別 ・ ク ラ ス 運 営	(1) 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。		○			クラス目標や年間計画に立ち返ったり、クラス会議で意見や提案を拾い上げて月案を作成する、というスタイルが不十分だったように思う。 会議が日々の共有事項確認などに追われ、丁寧な作成過程を経ることができなかったことが反省点である。 幼児主任・乳児主任・つき組担当者が、それぞれ各クラスの意見や提案を吸い上げて形にしていこうとする。
		(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。		○			
		(3) 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。		○			
		(4) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。		○			
		(5) 意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。		○			
		(6) 評価、資料(諸記録)を集積しているか。		○			
	保 健 ・ 安 全 指 導	(1) 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。	○				・各クラス会議・研修では、看護師が出席し、保健指導を行った。 ・感染症児が発生した場合は、看護師と嘱託医が密に速やかに連携を取れている。
		(2) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○				
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○				
		(4) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。		○			
	研 究 ・ 研 修	所内研究・研修	(1) 研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。		○		・自身の考えや意見をアウトプットしながら議論を行える研修が不足している。
			(2) 所内研修の計画・運営は適切か。		○		
			(3) 研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。		○		
(4) 研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。				○			
研 究 ・ 研 修	所外研究・研修	(1) 各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。		○		・保育士の希望する研修に行かせてあげられるよう、前提として十分な資料を提供していく。	
		(2) 各種研究会、研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。		○			

項目	内 容	評 価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
情報について	(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。		○			・個人情報についての研修は、外部からの研修も取り入れながら充実化させていきたい。	
	(2) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。		○				
	(3) 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。		○				
施設・設備	(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。		○			・施設の老朽化に伴う部分についての危険箇所は、修繕を進めていくこと。 ・不審者対応について、訓練はもちろんだが、必要な装備を整えていくことを検討する(さすまた等)。	
	(2) 遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。		○				
	(3) 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。			○			
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。		○				
出納・経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。		○			会計事務所任せにならないよう研鑽に努めること。	
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1) 他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか。	○				近隣の小学校、保育園と交流する機会を作っていた。 幼保小連携事業にも積極的に参加した。
		(2) 他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、(乳) 幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。	○				
		(3) 指導者どうしが、打合せや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。	○				
		(4) 参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。	○				
		(5) 日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。	○				
	家庭・地域社会との連携	(1) 保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。	○				地域の方への園庭開放、園内見学、給食試食会、行事へのご招待など、積極的に行ってきた。
		(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。		○			
		(3) (乳) 幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。	○				
		(4) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。	○				

項目	内容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
開かれた保育所づくり	子育て支援の推進	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や中庭、保育室等を開放しているか。	○				<ul style="list-style-type: none"> ・園庭開放では園庭を開放するだけでなく、歌やリトミックなどの活動を行った。 夏には園庭だけでなく、プールも開放した。 園庭開放の常連も多くいるので、毎月1回お誕生会を開き、お誕生日が近い子には誕生メダルを用意しプレゼントした。
		(2) 地域に住む子どもどうし、あるいは親子と一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。	○				
		(3) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。		○			
		(4) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○			
		(5) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○				
	情報の発信	(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	○				<ul style="list-style-type: none"> ・クラウドサービス(Dropbox)を利用し、保育写真を保護者と共有できるようにした。
		(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。	○				
	外部評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。			○		<ul style="list-style-type: none"> ・第三者評価は、28年度受審。 ・意見はアンケートや日々のコミュニケーションの中で吸い上げていった。意見・苦情について、誠実に対応し、反映できたと思う。
		(2) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。	○				